

2024年度事業計画

2024年4月1日～2025年3月31日

特定非営利活動法人 こども∞感ばにー

ビジョン：子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに

ミッション：どんなときも子どもの可能性を信じる大人であり続けます

子ども心と勇気を持って、子どもが安心して過ごせる環境を地域とともに創造し続けます

1 事業実施の方針

2023年度は、新事業として石巻市委託事業、放課後児童クラブが加わり、3事業を軸に『遊び』と『居場所』事業を展開した。

創立から12年目を迎える本年度は、本会のビジョンである『子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに』の実現のために、プレーパークとフリースクールの運営方針や環境づくりの見直しを図り、新たな拠点づくりをおこなう。

また、石巻市と連携を図りながら『子どもの居場所』『多様な学び』をテーマに対話し、市内全域での“子どもまんなか社会”の実現に力を入れていく。

また、本会の取組みを多くの人に認知してもらい、市民とともに活動をおこなうための『情報開示・提供』をおこなう。

《重点目標》

●プレーパークとフリースクール事業の新たな拠点設置

渡波中学校区に約3000坪の新拠点を設置する。そのために、地域のキーパーソンや子ども、保護者の意見を聴取し、実現に向けて計画をたて実施する。

●行政・教育機関との連携

石巻市内の『子どもの居場所』増加に向けた行政との意見交換やサポートをおこなう。また、『多様な学び』に関する先進事例紹介や研修会を協働で実施し、市内の児童生徒の学びについて検討する。

●組織基盤強化と資金調達

2024年度には、フリースクールの助成金が終了するため、資金調達力をつけることが急務である。2023年度から資金調達チームを設置し、SNSの運用や自主事業、寄付の仕組みづくりなど安定した運用資金の捻出方法を確立する。

《事業》

①すべての子どものための居場所（あそび場）に関する事業

◆プレーパーク事業

【目的】子どもが自分の責任で遊べる機会を創出し、子どもの生きる力を育む

●プレーパークわたのは

【目 標】

- ・未就学児親子の新規利用や保護者、地域住民の関わる機会を増やすために、親子・地域参加のイベントや地域会議を行うことでプレーパークへの関心を高める。
- ・プレーパークや子どもの居場所・あそび場の必要性を伝え、一緒に考え・つくることで、継続的に関わり子どもを見守る目を増やしていく。
- ・地域住民がプレわたに来所しやすい環境づくり。
- ・プレーパークや子どもへの理解を地域のなかに発信し、渡波の地域のなかで子どもが活躍できる場を創造する。
- ・本会のビジョンに沿ったプレーパークを実施していくために、移転場所を確定する。
- ・開催予定回数 140回
- ・来所人数 子ども延3,000名、大人1,200名（内、秋祭り150名）

【事業内容】

- ・開催日時：金 曜 日 15：00～17：00
土・日曜日 10：00～16：00
- ・地域会議：隔月1回（6回）
- ・環境整備：バスケットゴール解体/ウッドデッキ屋根作成/トイレ屋根修理
- ・地域住民との連携
避難訓練(7月)/秋祭り(11月)/黄金浜地区側溝掃除(11月)/教育機関との情報交換・共有
(各校年3回程度)/地域の声を拾う(随時)/放課後児童クラブ受け入れ
- ・人材育成
継続ボランティア受け入れ体制の整備
- ・広報
会報誌の配布(地域住民、市役所)/イベントチラシ配布(渡小、渡中)/プレーパーク案内チラシ配布(渡小)/FB・インスタグラム・ブログの更新/『こどぱにーの日』動画配信/秋祭りプレスリリース
- ・調査
子どもの居場所に関する調査(開催時外の子ども来所数・子どもへのアンケート)

●鹿妻プレーパーク“ひがこー”

【目 標】

- ・安定的にスタッフとボランティア、保護者で開催していくために関わる大人を増やす。
- ・プレイワークを取り入れた考え方の理解者を増やし、地域での子どもを見守る目を増やす。
- ・開催数：50回（うち春季・夏季各1回一日遊び開催：11：00～17：00）
- ・来所人数：子ども延1,100名、大人延300名 合計延1,400名

【事業内容】

- ・開催日時：毎週水曜日 15：00～17：00（冬季は16:30迄）
- ・人材育成

SNSによりひがごーの現状や「これから」を発信しボランティアを募り育成する

・ 広報

来所する子どもと地域住民に会報誌を配布/一日あそび場開催チラシ配布

・ 地域連携

鹿妻小学校と子どもに関する情報交換・共有：2回

鹿妻小学校「農村クラブ」サポート：1回

●プレーパーク・プレイワーク普及事業

【目的】

地域の子どもの孤立をなくし、安心して暮らせる社会になるため、市民にプレーパーク及びプレイワークを普及する

本事業は、啓発事業『あそびの出前』または『講師派遣』として2024年度より実施する。

◆フリースクール事業

●フリースクール“ぼはっく”

【目的】

安心して過ごせる居場所や、「やってみたい」を実現できる環境をつくり、学校に行けない子どもが、社会の中で自立するためのサポートをおこなう

【目標】

- ・ ぼはっく（居場所）を知らない子どもが5～10人増える。
- ・ 見学・相談のみで登録につながらない親子とも継続的につながり続け、いつでも気軽に相談や問い合わせができる体制をつくる。
- ・ 不登校理解を深めるために発信交流の機会を増やす。
- ・ 子ども自身の発信の機会をサポートする。
- ・ 開催日数：170回（上半期週3回、下半期週4回）
- ・ 登録者数：54名(+新規10名)、常時利用者数：10名
- ・ 利用人数：延2000名
- ・ 本人の意思による高校進学や復学・社会への自立：4名
- ・ 出席扱い学校数：在籍児童生徒が通う全校（累計13校）

【事業内容】

・ 子ども

子ども会議：子ども主体の企画、季節行事、体験活動、日常の約束ごと（月2回）

子どもの意思による高校進学や復学サポート

スタッフ会議：個別の処遇方針を決定し対応する（月2回）

・ 保護者

保護者への心のサポート（面談/相談）：月1～2回

保護者会実施：6回

相談用のLINEアカウントを作成し、登録に至らない親御さんと繋がり続ける

- ・地域/ボランティア
 - 地域の人との交流イベント：4回（クリスマス会、ハロウィン、ぼはっく祭り、川開き祭り）
 - ボランティア育成：現場研修、振り返り
 - 常時来所するボランティア1名
- ・行政/教育機関
 - 行政機関との交流：東部教育事務所、市教委、子育て支援課など視察
 - 市長懇談会、市教委の本会見学会実施
 - 在籍校：個別記録を登録児の在籍校に提出（月1回）、子どもに関する情報共有（随時）
- ・環境整備
 - 子どもが過ごしやすい環境づくり（日々の掃除、庭手入れ、模様替えなど）
- ・広報
 - リーフレットの設置場所拡大（既存設置も含め10箇所）
 - SNS発信（Instagram週2～3回）

◆放課後児童クラブ事業

【目的】

保護者と協力しその家庭の子育てを支援すると共に、子どもが遊ぶことを通じて成長していけるよう、市内外の児童クラブと連携し、子どもの権利・主体性を尊重していく

【目標】

- ・保護者にとって子育てのパートナーになる。
- ・子どもが楽しく、安心して通い、過ごせる場所にする。
- ・学校・行政・地域と共に子どもの育成をおこなう。
- ・地域に開けた放課後児童クラブにする。

【事業内容】

- ・子ども
 - 子どもアンケートの実施：2回（9月・2月）
 - 子ども会計の体制づくり・実施
 - 子ども企画の実施：長期休み（夏・冬・春）、随時（年4回程度/コアメンバーが各1回ファシリ実施）
 - 児クラ図書：子どもから意見を聞き児クラの本の充実・入れ替えを行う
 - 外部講師を招いて遊び企画を実施：2回（一日開所時）
- ・スタッフ育成
 - 子どもの声や要望、アイデアを形にするフローの構築
 - スタッフ予算：コアメンバーが年額1万円で企画を行う。PW会議で事前にプレゼン、事後に成果の報告をする
- ・保護者
 - 児クラだより発行：週1（50回）、月1（12回）、番外編（長期休み時/5回）
 - お茶っこ会開催：6回（隔月）

- ・地域連携
 - 地域ボランティアの受け入れ：登録者6名、受入回数12回
 - 土曜日スペシャルdayで地域の伝統に触れる場づくり：3回（6・9・12月）
 - 渡中学区WWIの活動への参加：2回
- ・学校との連携
 - 子どもの情報共有：随時
 - 子ども企画・主体の活動を学校と協働開催：2回
 - 教員お茶っご会の開催：2回
- ・行政
 - 市議会議員向け勉強会の実施：1回
 - 児クラにおける育成支援の勉強会の実施：1回
 - 児クラ運営協議会の体制づくり
- ・環境づくり
 - 子どもの過ごし方の選択肢を増やすための室内造作

◆ネットワーク事業

●石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会

【目的】

石巻全域の子どもが、自らの足で出向ける場所にプレーパーク（居場所）があり、地域で子どもを見守る体制を構築することで、子どもの孤立を防ぎ、安心して暮らせる地域づくり

【目標】

5年後までに、石巻市内13か所の子どもの居場所（児童館、プレーパーク）設置を目指し、構成団体や地域住民と連携して子どもの居場所を増やすための取組をおこなう。

【事業内容】

- ・役員会議 月1回程度（組織体制づくり/事業計画）
- ・石巻市内の『子どもの居場所』事例紹介と意見交換会
- ・『子どもの居場所』シンポジウム
- ・『子どもの居場所』意識調査（小学生と保護者アンケート）
- ・総会開催

●渡中学区WWI（わっしょい渡波委員会）

【目的】

渡波中学校区の子どもの地域で見守られ、安心して暮らせる地域をつくる

【目標】

- ・地域住民メンバー30名（+5名）

【事業内容】

- ・渡波中学校区(小学校2校、中学校1校)のPTAや民生委員、社会福祉協議会などと「地域の子どもは

地域で見守り育てる」を合言葉に渡波地区の任意団体として地域活動や学校行事お手伝いなどおこなう。

- ・コミュニティスクール運営委員として、学校や児童生徒と地域のパイプ役となり地域に開けたコミュニティスクール化を図る。
- ・定例会議 月1回程度
- ・イベント
肝試し大会や逃走中など、子どもアンケートを実施し決定
- ・地域活動への協力
渡波中学校生徒企画 廃品回収事業へのサポート（6月・10月）
プレわた夏祭りサポート など

●多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

【目 的】

教育機会確保法の理念を基に、宮城県内の民間の団体・教育委員会・行政などのネットワークを構築し、子どもが選択できる多様な居場所が保障される地域社会をつくる

【目 標】

- ・不登校支援団体や議員を含む市民が連携し、行政と協働を図るための体制づくり
- ・多様な学びに関する協議会設置

【事業内容】

- ・定例会議 月1回程度（総会、事業計画、資金調達）
- ・研修会（教育機会確保法、先進事例検討会、不登校理解を深める講座実施など）
- ・調査活動（当事者の意識アンケート/昨年からの継続）
- ・情報の共有と発信：居場所マップ制作・配布
- ・行政、県議会議員との意見交換会

●まずは石巻から不登校という言葉がなくすネットワーク

【目 的】

子ども一人ひとりが自分に合った学びの場に出会い、安心して暮らせる社会をつくる

【目 標】

- ・多様な学びの選択肢の必要性に関する理解者を官民が連携して増やす。
- ・「不登校は問題行動ではない」「居場所の必要性」について理解者を官民が連携して増やす。
- ・構成メンバー：15名

【事業内容】

- ・定例会議：月1回程度（事業計画立案）と情報交換会（月1回程度）
- ・『不登校』親の会「おでんの会」12回
- ・石巻市内の子どもの居場所マップ作成
- ・多様な学びシンポジウム（前『不登校』シンポジウム）

- ・多様な学びに関する意識調査
- ・学校づくりチーム定例会議：月1回程度

②子育てサポート事業

【目的】

気軽に子育て相談ができる環境と、市内に少ない不登校相談窓口を設置することで、孤立した保護者のサポートをおこなう

【目標】

相談件数：延べ120件

【事業内容】

- ・面談式相談（事前予約）：平日10：00～18：00 ※オンラインや電話での相談も可
- ・ながら相談：プレーパーク開催時随時受け入れ

③自然体験プログラム事業

【目的】

大自然の中でのサバイバルキャンプを通じて、好奇心・発想力・仲間との協調性などを学ぶ

【目標】

- ・プレーパークとフリースクールを利用する子どもが共に過ごし、シナリオにできない様々な経験をする機会にする。主体性を重んじ、終了時には子どもそれぞれが一回り成長している。
- ・参加人数：12名程度
- ・開催地：石巻市牡鹿半島

④前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業

●啓発事業（講座/研修）

- ・講師派遣：外遊びの大切さ講座/愛着形成がもたらす親子関係/プレーパークのつくり方 /不登校を理解するための講座 など10回程度
- ・あそびの出前

●情報発信事業

HPリニューアル /継続サポーター募集リーフレット作成 /多様な学びの場づくり映像制作（2024年度完成）/会報誌「だん子むし」800部発行 /SNS配信（Facebook、Instagram、ツイッター、ブログ 1回/週）

●人材育成事業

- ・事業スキル向上のためのスタッフ研修
プレイワーカー会議・日々の振り返り
カウンセリング研修・事例検討研修
プレイワーク、ピカジップ（振り返り）、多様な学びに関する研修

- 児童クラブに関する研修（県児連開催等）、他の児童クラブや児童館との人材交流
- ・組織運営のためのスタッフ研修
- 資金調達（寄付・会員拡大他）
- ・外部人材育成
- ボランティア（市内高校生、市内在住の大学生、県外）/インターン受け入れ
- 視察受け入れ など

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

●主たる活動地域内

コミュニティスクール運営委員会（渡波中・鹿妻小・渡波小）/石巻市社会福祉推進委員会 /子ども・若者支援地域協議会（石巻圏域） /不登校児童生徒の支援に関する情報交換会（宮城県教育委員会）/不登校支援ネットワーク連絡会議（東部教育事務所）/石巻市不登校懇談会（石巻市教育委員会）/SSW連絡会議（石巻市教育委員会）/子どもの居場所懇談会（石巻市福祉部子育て支援課）/石巻市都市計画審議会

●他団体との連携

NPO法人子どもにやさしいまちづくり理事 3回程度 /NPO法人にじいろクレヨン理事 年4回

≪組織基盤強化≫

①資金調達

【目的】

一過性助成金や補助金に頼らない、自主財源を主に事業展開する

【目標】

寄附（継続サポーター、企業含む）、自主事業収益、謝金、合計1,027万円

- ・企業寄付 20社
- ・継続サポーター160名
- ・一般寄付（クラウドファンディング、みやぎチャレンジプロジェクト含む）

【事業内容】

- ・資金調達の中期（3か年）計画を立案・実施

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者名	受益者	事業費(円)
①すべての子どものための居場所(あそび場)に関する事業	プレーパーク事業 ・プレーパークわたのは ・鹿妻プレーパークひがこー	金・土・日 水	渡波 鹿妻	4名 1名	幼児 ～高校生 地域住民	12,000,000
	フリースクール事業 ・フリースクールぼはっく ・面談/相談	火・木・金曜 (10月より4日) 随時	鹿妻 鹿妻・渡波	3名 1名		
	放課後児童健全育成事業	随時	渡波	8名	-	18,260,000
	地域連携・ネットワーク事業 ・石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会 ・多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク ・渡中学区WWI ・まずは石巻から不登校という言葉をなくすネットワーク	15回/年 15回/年 15回/年 10回/年	宮城県内	2名 1名 2名 1名		300,000
②子育てサポート事業	・子育て/不登校相談	随時	渡波	1名	-	100,000
③自然体験プログラム事業	・サバイバルキャンプ	夏季-	未定	4名	小～高校生	未定
④社会体験プログラム事業	※活動予定なし	-	-	-	-	-
⑤前各号に掲げる活動の推進を図るための啓発及び情報発信と人材育成事業	啓発事業 ・講師派遣 ・活動報告会		石巻市内 石巻市内・首都圏	2名 3名以上	-	2,940,000
	情報発信事業 ・HP改訂と拡散 ・継続サポーター募集リーフレット ・多様な学びの場映像制作 ・会報誌「だんごむし」 ・ブログ ・Facebook / Instagram/X ・各事業パンフレット配布	7月～12月 9月 10月 年4回 月4本 随時 年1回	-	全スタッフ	-	
	人材育成事業 ・カウンセリング研修・事例検討 ・プレイワーク、振り返り研修他	年1回 通年	県内 石巻市内	2名 全スタッフ	-	

⑥その他、本会の目的を達成するために必要な事業	・主たる活動地域内での委員	随時	石巻市内	1名	-	330,000
	・石巻市内における委員や役員	随時	石巻市内	1名		

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

理事会の開催（年3回他必要に応じて開催）

(2) 運営体制

運営に関わるスタッフは以下の通り

代表：田中雅子

常勤スタッフ：5名

非常勤スタッフ：8名（児童長期休み期間の非常勤含む）

(3) 会員

【目標】

・正会員 32名(+4名)

・継続サポーター 160名(+65名)

(4) ボランティア（県内の高校生・大学生を中心に受け入れ/短期含む）：20名

(5) 地域社会や他団体との連携について

宮城県教育委員会、宮城県共同参画推進課、宮城県東部児童相談所、宮城県東部教育事務所、石巻市教育委員会、石巻市福祉部子育て支援課・保育課、石巻市都市計画課、石巻市総合相談センター、石巻市社会福祉協議会、石巻市立渡波小学校、石巻市鹿妻小学校、石巻市渡波中学校、他小中学校多数、公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク、NPO 法人ベビースマイル石巻、NPO 法人 TEDIC、NPO 法人にじいろクレヨン、NPO 法人子どもにやさしいまちづくり、一般社団法人プレーワーカーズ 多様な学びを共につくる・みやぎネットワークなど連携団体は多数

以上